

総合資料館 業務概要

— 平成25年度のまとめ —

京都府立総合資料館

目 次

1	新たな施設整備に向けた取組(経過)	1
2	新たな施設整備に向けた検討と連動した取組	5
3	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	5
4	50周年事業と情報発信の取組	6
5	京都府行政文書修理事業	14
6	資料の収集・整理・保存	14
	(1) 図書資料	14
	(2) 文書資料	18
	(3) 管理委託現物資料	21
	(4) デジタル化資料	22
7	調査	23
	(1) 古文書	23
	(2) 行政文書	23
	(3) 写真資料	23
8	閲覧	23
	(1) 図書資料	23
	(2) 文書資料	26
	(3) 管理委託現物資料	28
9	東寺百合文書	29
	(1) ユネスコ記憶遺産の推薦候補	29
	(2) デジタル化	29
	(3) 「東寺百合文書WEB」の公開	29
10	共同研究等	29
	(1) 大学等研究機関との共同研究(再掲)	29
	(2) 大学学外授業等の受入れ	30
	(3) 大学への出講	30
11	図書館実習・インターンシップ	30
	(1) 図書館実習	30
	(2) インターンシップ	30
12	館蔵資料の撮影と複写	30
13	資料の貸与	31
	(1) 図書資料	31
	(2) 文書資料	32
	(3) 管理委託現物資料	32
14	図書館間相互貸出	34
	(1) 府内公共図書館等	34
	(2) 国立国会図書館	34
15	施設の状況	35
16	組織・業務分担・予算(平成26年4月1日現在)	36
	(1) 組織	36
	(2) 職員数	36
	(3) 業務分担	37

(4) 予算状況（平成26年度当初予算）	37
17 平成25年度の主な活動 _____	38
18 沿革 _____	41
(参考) 館蔵資料の国宝等指定一覧（平成26年3月31日現在） _____	45

1 新たな施設整備に向けた取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備に向けた検討を進めています。

◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

- ① 効率・効果的な運営
 - ・ 開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
 - ・ 外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成
- ② 設置根拠等の整備
 - ・ 新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) …………… 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) …………… 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) …………… 主として植物園地域
- 憩う(親水) …………… 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) …………… 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・附属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

- ① 「国際京都学センター」(資料館内)を設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・ 高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・ 京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・ センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・附属図書館)の合同整備

- ② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・ 府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民提供方法の開発
- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

- ③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化(可能なものから実施)

◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

△ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
 - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
 - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
 - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
 - ・ 閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
 - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
 - ・ 施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
 - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
 - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
 - ・ 施設規模 9,000㎡程度

◆ 新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

- 公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成
 - ・ 新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
 - ・ 閲覧ワンフロア化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
- 「京の記憶ライブラリ」の構築
 - ・ 総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブズ」を加え、「知デジ京都」としてリニューアル
 - ※「京の記憶ライブラリ」：キーワード、カテゴリ検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム(23.4.1～館内運用、23.7.1～インターネット配信)

◆ 新たな施設整備に向けた取組(23年度)概要

建築設計コンペ、基本設計、埋蔵文化財調査実施

- 設計業者との協議(本庁、府立大学との共同)
 - 館内にハード検討チームを設置し、公募型設計協議により決定された設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
 - ① 新資料館部門：閲覧、展示、収蔵等の各施設の基本構造及び設備
 - ② 国際京都学センター部門：京都学ラウンジ、講堂、セミナー室等の基本構造及び設備
- 国際京都学センター設立準備に係る協議(本庁、府立大学との共同)
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
 - ・ キックオフ事業の検討・予算化(国際シンポジウム、研究プロジェクト)
- 統合情報システム構築に係る検討・協議
 - ・ 京都の歴史・文化に関する発信拠点となるべく、館蔵資料(60万点)の管理・検索・閲

覧できるシステムの構築に向けた検討・予算化

○ 所蔵資料に係る目録の電子データ化

- ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（24年度）概要

基本・実施設計、埋蔵文化財調査実施

○ 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）

- ・前年度から引き続き館内にハード検討チームを設置し、設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。

○ 文化庁との協議

- ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。

○ 統合情報システム構築に係る仕様案の作成

- ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた仕様案を作成

○ 所蔵資料に係る電子データ化

- ・東寺百合文書のデジタル画像（5,494点、22,988コマ）を作成
- ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（25年度）概要

本体建築工事着工

○ 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）

- ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工図面についての協議を行った。

○ 文化庁との協議

- ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。

○ 統合情報システム構築に係る仕様案の作成

- ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向け、情報提供依頼（RFI）を行い、仕様案に反映
- ・ユネスコ世界記憶の登録に向け、東寺百合文書Web公開システムを構築し、約44,000画像をインターネットで公開

○ 所蔵資料に係る電子データ化

- ・東寺百合文書のデジタル画像（13,210点、58,139コマ）を作成
- ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録や地方新聞等のデジタル画像を作成

2 新たな施設整備に向けた検討と連動した取組

◆ 外部機関と連携した取組

- 府立大学文学部歴史学科との共同研究（平成14年度～）
 - ・近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究
- 府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）「現代版『京童』へのアプローチ」への参加
 - ・研究成果を3月15日の国際京都学シンポジウム「名所の今昔おもしろ案内—現代版『京童』へのアプローチ—」で「洛中洛外デジタル遊覧—時空を超えた名所図会の楽しみ方—」として発表
- 京都の「地蔵」信仰と地蔵を活かした地域活性化事業
 - ・文化庁文化芸術振興費補助金を活用し、当館が事務局となり、花園大学などと連携して記録調査を実施。成果報告会を行うとともに、報告書を刊行。
- 新聞連載事業
 - ・府立大学、京都新聞社と連携し、資料館所蔵の古典籍を題材に、古典籍の魅力を伝える新聞連載事業を実施（平成19年度～）
「遊びをせんとや」平成22～25年度

3 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

(1) 利用者等の状況

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開館日数	319 日	総合資料館府民講座等	2,085 人
閲覧室等利用者数	77,150 人	古文書入門教室	352 人
図書閲覧室	46,440 人	歴史資料解読講座	543 人
文書閲覧室	2,286 人	古文書相談	8 件
古文書	768 人	展覧会	5,286 人
行政文書	1,200 人	資料の特別撮影・利用	365 件
写真資料	20 人	(管理委託現物資料を含む)	1,005 点
近代文学資料	6 人	資料の複写(電子式複写・デジタル画像プリント等)	12,255 件
その他	292 人		254,109 枚
学習室	28,424人	資料の館外貸与	23件
図書の書庫出納冊数	52,206 冊	(管理委託現物資料を含む)	※1 295 点(冊)
図書資料の相談件数	13,431 件		

※1 図書資料については、冊数で算出

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成25年度受払状況							累計 (平成26年3月 31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料 (文献課)	図書資料	873	2,938	1,157	—	4,968	0	4,968	369,194冊
	その他 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	2,446点
小 計		873	2,938	1,157	—	4,968	0	4,968	371,640冊(点)
※2 文書資料 (歴史資 料課)	古文書 ^{※3・4}	—	36,045	—	—	36,045	—	36,045	127,644点
	行政文書 ^{※4}	—	—	—	1,896	1,896	—	1,896	83,851点
	写真資料	—	—	—	—	—	—	—	(15)6,859点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	(2)23,788点
	その他 ^{※5}	—	—	—	—	—	—	—	256点
小 計		—	36,045	—	1,896	37,941	—	37,941	242,398点
※6 管理委託 現物資料	美術工芸資料	—	174	—	692	866	—	866	10,547点
	歴史民俗資料	—	—	—	—	—	—	—	18,939点
	その他 ^{※7}	—	—	—	—	—	—	—	23,173点
	小 計	—	174	—	692	866	—	866	52,659点
		873	39,157	1,157	2,588	43,775	0	43,775	666,697冊(点)

※1 レコード、版木ほか。

※2 文書資料欄の()内の数字は、各資料の固まりを示す文書群等の件数である。

※3 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※4 累計は、所蔵資料を精査した数値であり、昨年度累計と整合が取れていない。

※5 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

※6 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

※7 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

4 50周年記念事業と情報発信の取組

本年度は開館50周年にあたるため、総合資料館ではさまざまな行事を開館50周年記念として開催しました。事業の広報等には、職員のデザインによる50周年記念統一ロゴ「巻物くん」を活用しました。



◆ 展示

(1) 展覧会の開催

本年度、当館展示室において、次の4件の展覧会を開催し、入場者数は延べ5,286人でした。

展覧会名	ユネスコ記憶遺産推薦決定 京都府立総合資料館開館50周年記念 平成25年度東寺百合文書展
会 期	平成25年10月12日(土)～11月10日(日)
展示の内容	<p>国宝「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産の推薦候補に選ばれたことを記念し、次の4テーマに分けて展示を行いました。また、会期中の祝日にシンポジウムを開催することを受け、当日の午前9時から午後1時まで臨時開室しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記憶遺産になるための第一歩 ・ 少し意外・中世の暮らし ・ 供僧の仕事 ・ 文書いろいろ
出品点数	47点

関連行事	○シンポジウム「東寺百合文書のこれからー記憶遺産に向かってー」 平成25年10月14日（月・祝） 午後1時～5時 ○列品解説 平成25年10月19日（土） 午後2時～3時 10月26日（土） 午後2時～3時 10月30日（水） 午後2時～3時
入場者数	2,091人（開催日数29日間、1日平均72人）

展覧会名	京都府立総合資料館開館50周年記念企画展 「資料にぞくっ！～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～」
会期	平成25年11月14日（木）～12月15日（日）
展示の内容	総合資料館の館蔵資料・寄託資料中から次の3つの小テーマにより展示しました。 ・テレビ、出版物、展覧会等により利活用された資料から興味深いもの ・この数年間の展示会において実施したアンケートで、今後希望する展覧会としてお聞きした内容から、それに合致する資料 ・総合資料館長、顧問、展示担当職員が選ぶお薦めの逸品
出品点数	78点
関連行事	○列品解説 平成25年11月21日（木） 午前11時～12時、午後2時～3時 12月5日（木） 午後2時～3時 ○館内案内ツアー 平成25年11月28日（木） 午後2時～3時
入場者数	1,640人（開催日数30日間、1日平均55人）

展覧会名	京都府立総合資料館開館50周年記念企画展 「みんなで作る50年史」
会期	平成25年10月12日（土）～11月10日（日）、11月14日（木）～12月15日（日）
展示の内容	資料館の50年前を語る資料として、開館時の建物模型、建築中の写真、当時使われていた電話、図書の代本板などを展示や、現在の1階休憩室のところにあった食堂で使われていた食卓机・椅子の現物、50年目の資料としては、現在進行中の新資料館の計画模型等を展示しました。 「みんなで作る50年史」年表は、昭和38年（1963）から平成25年（2013）までの資料館・社会の出来事が書かれた年表に来館者の皆様方からの思い出を書き込んで貼っていただき、年表を完成させる試みで、資料館の50年と社会の50年、参加者の人生の50年とを重ねていただき、振り返っていただきました。
出品点数	83点
関連行事	○ユネスコ記憶遺産推薦決定 京都府立総合資料館開館50周年記念 「平成25年度東寺百合文書展」 ○京都府立総合資料館開館50周年記念企画展 「資料にぞくっ！～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～」
入場者数	上記展覧会と同時開催

展覧会名	デジタル体験！ 国宝 東寺百合文書展
会期	平成26年1月6日（月）～1月31日（金）
展示の内容	株式会社エーディエスの協力により、12点の高精細デジタル画像の東寺百合文書を大画面で自在に鑑賞したり、紹介ビデオを上映するなどのデジタル展示を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・東寺百合文書紹介ビデオ ・東寺百合文書インタラクティブ体験説明ビデオ ・東寺百合文書インタラクティブ体験 ・二条城行幸図屏風（泉屋博古館所蔵）紹介ビデオ ・二条城行幸図屏風（泉屋博古館所蔵）インタラクティブ体験 ・大型スキャナ機材実物展示／紹介ビデオ
出品点数	6点
関連行事	京都府立鴨沂高等学校の見学（1月16日）
入場者数	1,555人（開催日数24日、1日平均55人）

(2) 館外での展示

本年度、館外において、次の2件の展示を開催しました。

館外展示の開催状況

会期	展示名	場所
平成25年11月5日（火） ～8日（金）	総合資料館～写真で見る京都の今昔～	京都府庁2号館ロビー 展示コーナー
平成26年1月19日（月） ～23日（金）	暮らしにつながる行政文書－行政文書利 活用のすすめ－（パネル展示）	京都府庁2号館ロビー 展示コーナー

◆ 講座等

(1) 総合資料館府民講座

当館では、平成14年度から外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催しています。本年度は6回開催し、受講者数は延べ415人でした。

本年度、「京都学へのいざない講座－京都力を探る－」は「京都のものづくりの力」をテーマに開催しました。本講座は京都府立大学との共催で実施し、第1回は当館、第2回は蹴上浄水場、第3回と第4回は府立大学学生会館を会場として開催しました。

「総合資料館府民講座」の開催状況

回	年月日	演題	講師	受講者数
1	平成25年 8月1日（木）	寺子屋講座「夏を涼しく！京うちわ」	鶴飼 雅樹氏（日展東丘社 所属 日本画家）	41人
2	平成25年 10月6日（日）	京都学へのいざない講座「現代京都のもの づくり－伝統文化からデジタル文化に－」	高橋 徹氏（株）ATR Creative チーフデザイナー）	51人
3	平成25年 10月23日（水）	京都学へのいざない講座「京都ものづくり の基盤の形成－琵琶湖疏水・田邊朔郎とその 時代－」、蹴上浄水場見学	宗田 好史氏（京都府立大 学生命環境学部教授）	52人
4	平成25年 11月19日（火）	京都学へのいざない講座「京都の文明開化 －山本覚馬を中心に－」	露口 卓也氏（同志社大学 文学部教授）	150人

5	平成26年 1月22日(水)	京都学へのいざない講座「京の美学－西陣織の翻古爲新－」	三橋 俊雄氏(京都府立大学生命環境学部教授)	92人
6	平成26年 3月23日(日)	寺子屋講座「京都の歴史を歩こう!2014－岡崎編－」	上杉 和央氏(京都府立大学文学部准教授ほか)	29人
合 計				415人

(2) 古文書入門教室・歴史資料解説講座

平成24年度に引き続き、本年度も古文書解説に必要な基礎知識を解説する「古文書入門教室」と、館蔵資料等を活用して講義を行う「歴史資料解説講座」を開催しました。

なお、本年度も「古文書入門教室」は京都府立大学・大学会館を会場に定員を120人として行いました。「歴史資料解説講座」は京都府立大学本館・合同講義室棟3階・第3講義室を会場に定員200人で行いました。

「平成25年度古文書入門教室」の開催状況

日 程	講 師	演 題	受講者数
平成25年12月24日(火)	辻 真澄	平易な文書の解説と基礎知識	119人
平成25年12月25日(水)	岡本 隆明		120人
平成25年12月26日(木)	(当館職員)		113人
合 計			352人

「平成25年度歴史資料解説講座」の開催状況

日 程	講 師	演 題	受講者数
平成26年3月4日(火)	島津 良子氏 (奈良女子大学非常勤講師)	年貢とは何か?－「御用状」にみる年貢米の売却と江戸送金	205人
平成26年3月5日(水)	大塚 活美 (当館職員)	社格社号標の建立－京都府行政文書から－	164人
平成26年3月6日(木)	山田 洋一 (当館職員)	丹後国久美浜代官所関係文書より－代官の仕事、なぜ代官所の役人は十数人?－	174人
合 計			543人

(3) 古文書相談

古文書相談は、比較的軽易なものが多く、相談者の意向により随時郵送等により回答しました。相談件数は、合計で8件でした。

◆ シンポジウム等

(1) トークセッション

平成25年は、昭和38年の総合資料館開館から50年周年を迎えるとともに、新総合資料館(仮称)の建築工事着工の節目の年でもあることから、関西の若手・中堅の博物館・図書館・文書館職員や研究者に、総合資料館に期待する機能や役割等について自由に語っていただくトークセッションを当館で開催しました。なお、トークセッションに先立ち、当館内のバックヤードツアーを開催しました。

「トークセッション『新資料館に期待する』」の開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成25年 7月14日(日)	○4人の若手・中堅の博物館・図書館・文書館職員や研究者による討論 ・国際日本文化研究センター図書館職員 江上 敏哲 氏 ・立命館大学国際平和ミュージアム学芸員 兼清 順子 氏 ・大阪市史料調査会調査員 松岡 弘之 氏 ・司会：当館職員 福島 幸宏	162人

(2) 地域史シンポジウム

当館では、地域の歴史・文化に関する貴重な資料をはじめ、府内各地での地域史の研究を通じて地域の歴史・文化を学び未来に向かって伝えていこうとされている団体等の資料も収集し、利用に供していますが、こうした地域史の研究活動を広く紹介し、一層支援するとともに、国際京都学センターの開設に向け、府内地域の研究者や団体の方々とのネットワークを構築することを目的として、文化パーク城陽においてシンポジウムを開催しました。

「地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウムー山城地域の活動報告を中心としてー」
の開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成25年 9月29日(日)	○第1部 事例報告 ・「南山城の地域史を学んで」 城南郷土史研究会代表 中津川 敬朗 氏 ・「地域に根ざした文化の発信基地としての活動から」 京田辺市郷土史会副会長 林 正 氏 ・「歴史カルタで八幡再発見」 八幡の歴史を探究する会事務局長 土井 三郎 氏 ・「南山城における養蚕・製糸業ー城陽長池と八幡の関係からー」 京都府立大学文学部特任講師 竹中 友里代 氏 ○第2部 ディスカッション ・コーディネーター 京都府立大学文学部准教授 上杉 和央 氏 ・パネリスト 第1部の報告者	151人

(3) 国際京都学シンポジウム

国際京都学センターの開設に向けて、今後の研究の進め方や成果の国内外への発信のあり方などを広く公開の場で意見交換し検討するために、当館と京都府立大学の主催により、平成24年度から「国際京都学シンポジウム」を開催しています。

今年度は、京都府立大学との共催で同大学において当館が所蔵する東寺百合文書のユネスコ記憶遺産推薦決定記念シンポジウムと、当館と京都府立大学の主催で京都市国際交流会館において国際京都学シンポジウムを開催しました。

国際京都学シンポジウム「東寺百合文書のこれからー記憶遺産に向かってー」の開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成25年 10月14日 (月・祝)	○基調講演 ・「ユネスコ記憶遺産と東寺百合文書」 日本学術会議会員・学習院大学教授 高埜 利彦 氏	180人

	○報告 ・「東寺百合文書と日本中世史」 東京大学史料編纂所所長 久留島 典子 氏 ・「東寺百合文書の調査と管理」 富山大学名誉教授・元総合資料館職員 富田 正弘 氏 ・「東寺百合文書の概要」 当館職員 小森 浩一	
--	--	--

国際京都学シンポジウム「近代京都の学と美の新生－明治・大正期の日中文化交流の中から－」の開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成26年 1月11日(土)	○記念講演 ・「内藤湖南と羅振玉－「京都支那学の誕生」－」 京都大学名誉教授 礪波 護 氏 ○講演 ・「京都における羅振玉の日本所蔵漢籍の出版事業について」 国文学研究資料館研究部教授 陳 捷 氏 ・「王国維『壬癸集』を読む－癸丑三月三日京都蘭亭会詩－」 京都府立大学文学部准教授 林 香奈 氏 ・「『壬癸集』と京都府立図書館」 京都府立図書館資料課長 西村 隆 氏 ・「内藤湖南・長尾雨山と京都書壇」 日展常務理事(書)・日本書芸院理事長・国際京都学協会常務理 杭迫 柏樹 氏 ○討論 ・司会 京都府特別参与、京都府立大学名誉教授、当館顧問 井口 和起 ・パネリスト 記念講演者及び講演者	187人

(4) 開館50周年記念シンポジウム

平成25年は、当館が開館した昭和38年から50年目に当たる節目の年であるとともに、新総合資料館（仮称）の建築着工の節目の年であることから、当館の50年のあゆみを振り返りながら、新たな魅力を発信していくため、京都府職員研修・研究支援センターにおいてシンポジウムを開催しました。

開館50周年記念シンポジウム「総合資料館の50年と未来」の開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成25年 11月16日(土)	○基調講演 ・「文化資源の保存・活用のために」 東京大学副学長 吉見 俊哉 氏 ○報告 ・「文化資源保存の重要性－マンガ研究の立場から－」 京都精華大学マンガ学部長 吉村 和真 氏 ・「新資料館と国際京都学センターに望むこと」 前国立国会図書館長、京都大学名誉教授 長尾 真 氏	95人

	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合資料館の50年と新館構想」 京都府特別参与、京都府立大学名誉教授、当館顧問 井口 和起 ・「総合資料館の実力」 当館職員 松田万智子・岡本隆明 <p>○ディスカッション 基調講演者及び報告者</p> <p>◆ポスターセッション 館のあゆみ・百合文書・貴重書・地蔵プロジェクトほか</p>
--	--

◆ 編集・刊行

平成25年度に編集・刊行した刊行物は次のとおりです。

- ①「京都府立総合資料館開館50周年記念誌 1963-2013」 A4判 112頁
- ②「平成25年度京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業報告書」
京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会（事務局：総合資料館）編集・発行 A4判 38頁
- ③「資料館紀要」第42号 A5判 132頁
 - ・再録「メルマガコラム「写真資料から」」
 - ・蔵書印で辿る武士の学問―幕末の京都を中心として―
- ④「総合資料館だより」No.175～178
 - No.175（平25. 4. 1） 8頁
 - ・植物園北遺跡の発掘調査
 - ・文献課の窓から 山本覚馬と京都博覧会
 - ・歴史資料課の窓から 京都府庁文書に見る濃尾地震
 - ・最近の収集資料から（平成24年12月～25年2月）
 - ・新館情報
 - ・友の会事務局から、古文書相談のご案内、日誌、利用案内
 - No.176（平25. 7. 1） 8頁
 - ・東寺百合文書がユネスコの記憶遺産に推薦されます
 - ・総合資料館50周年記念事業について、寺子屋講座、新館情報
 - ・文献課の窓から 8月16日は火事にご用心？～京都の火災と大文字送り火～
 - ・最近の収集資料から（平成25年3月～5月）
 - ・友の会事務局から、古文書相談のご案内、日誌、利用案内
 - No.177（平25.10. 1） 12頁
 - ・総合資料館開館50周年にあたって
 - ・総合資料館この10年のあゆみ
 - ・開館50周年記念シンポジウム
 - ・開館50周年記念企画展
 - ・古文書入門教室
 - ・最近の収集資料から（平成25年6月～8月）
 - ・友の会事務局から、日誌、利用案内
 - No.178（平26. 1. 1） 10頁
 - ・歳旦祝寿
 - ・知事年頭あいさつ

- ・ 歴史資料課の窓から 公文書館機能の充実
- ・ 文献課の窓から 樺太に見る失われた文化
- ・ 平成 25 年度「歴史資料解読講座」を開催します！
- ・ 最近の収集資料から（平成 25 年 9 月～11 月）
- ・ 「上野家文書」について
- ・ 池大雅資料、友の会事務局から、日誌、利用案内 他

◆ ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。

- 所蔵資料を積極的に一般の利用に供するため、特に利用の多い「上京区地籍図」1,173点、「下京区地籍図」1,134点及び「官有地籍図」810点、計3,117点について平成25年4月から『行政文書アーカイブズ』に掲載しました。
- 平成25年7月に「総合資料館開館50周年記念事業」のページを開設しました。
- 平成25年8月に「新総合資料館（仮称）整備に向けて」のページを開設しました。
- 平成25年10月に「Google歴史アーカイブ」に展示アイテムとして「御所と離宮」「京都散策 明治末～大正初期」を公開しました。
- 平成25年11月に「資料館へようこそ！」のページを開設しました。
- 平成26年3月に「東寺百合文書WEB」を公開しました。
- レファレンス事例について、32項目を追加しました。
- 平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行しています。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第170号	4月3日	615	第179号	8月7日	613	第188号	12月11日	616
第171号	4月17日	613	第180号	8月21日	616	第189号	12月25日	617
第172号	5月1日	611	第181号	9月4日	616	第190号	1月8日	616
第173号	5月15日	611	第182号	9月18日	614	第191号	1月22日	615
第174号	5月29日	612	第183号	10月2日	614	第192号	2月5日	614
第175号	6月12日	609	第184号	10月16日	616	第193号	2月19日	614
第176号	6月26日	610	第185号	10月30日	618	第194号	3月5日	614
第177号	7月10日	611	第186号	11月13日	615	第195号	3月19日	614
第178号	7月24日	613	第187号	11月27日	617			

◆ 資料館友の会の活動

当館の事業に協賛する方によって、友の会が組織されており、本年度の会員数は204人でした。主な活動内容は以下のとおりです。

① 現地講座

平成25年6月5日（火）に同志社今出川キャンパス及び新島旧邸（京都市中京区）において実施し、68人の参加がありました。

② 見学会

平成25年11月28日（火）に奈良県の大和文華館、東大寺ミュージアム及び法隆寺において実施し、61人の参加がありました。

③ 総合資料館府民講座等

当館との共催で、開館50周年記念事業として実施した歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等をテーマとした総合資料館府民講座や、国際京都学センターの開設に向けたシンポジウム、展示（2回）を開催するとともに、総合資料館開館50周年記念誌を発行し、会員に送付しました。

④ 「総合資料館だより」の発行・配付

館と共同でNo. 176からNo. 179を発行するとともに、会員に送付しました。

5 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として日本で初めて重要文化財に指定された「京都府庁文書」（京都府立庁前年（慶応3年）から昭和21年度までの15,407点）について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷の修理等を行いました。

今年度は敗戦直前の建物疎開関係資料を中心に11点の修理を行ったほか、経常的な手当を108点に対して行いました。

6 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

・ 図書資料（文献課）

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物（写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。）及びこれに準ずる資料

・ 文書資料（歴史資料課）

・ 管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入（冊）	寄贈（冊）	取得等（冊）	計（冊）	
京都資料	414	1,332	560	2,306	
人文資料	200	1,065	105	1,370	
官庁資料	京都関係	63	364	431	858
	国・他府県	196	177	61	434
合計	873	2,938	1,157	4,968	

そのうちの主な資料は、次のとおりです。

ア 京都資料

書名	著編者等	備考
<p>秦氏の研究 続 長岡京の歴史考古学研究 城陽・八幡・久御山の今昔 城陽市・八幡市・久御山町 ふるさと舞鶴 舞鶴市制施行70周年記念写真集 京都地名語源辞典 東西両京市誌 上・下巻 橋北汽船案内 近世妙心寺建築の研究 京都府電話番號簿 昭和7～11年 京都フードマイスター検定公式テキスト 京都の食材に 詳しくなろう！ 京都近代文学事典</p>	<p>大和岩雄著 國下多美樹著 竹中友里代監修 郷土出版社 吉田金彦・糸井通浩編 総生寛[編] 吉田初三郎著 平井俊行著 大阪通信局[編] コンパス・ポイント編集 日本近代文学会関西支部京都近代文学事典編集委員会編</p>	<p>購入</p>
<p>御室学区の文化と自然 地域通史 深草を語る 昨岡の森に集いて 昨岡神社奉賛会二十年の記録 下大久保区誌 私たちの小さな宮津・松尾史 お母さん町長奮闘記 京都・与謝野町 共生と循環のまちづくり 綾部市日本中国友好協会40年の歩み 亀岡市老人クラブ創立50年史 創立30周年記念誌 立命館百年史 通史3 8.14豪雨災害記録誌 災害に強いまちづくりへ みんなの京都市動物園 京都市動物園110周年記念誌 平和池水害を語り継ぐ 柏原区「災害伝承10年の取り組み」2002～2012年 二条駅周辺の再開発とまちづくり 奈良屋杉本家二百七十年の歩み 近世から近代への京商家-商い・生活・信仰 高校野球選手権大会発祥地における第一回大会優勝校の歩み 京都府立京都第二中学校 八幡の歴史カルタ</p>	<p>御室文化部会編集 深草を語る会著 昨岡神社奉賛会編集 下大久保区誌編纂委員会編集 小谷信一郎・小谷正[編] 太田貴美・岡田知弘著 綾部市日本中国友好協会[編] 亀岡市老人クラブ連合会[編] うめの木福祉会[編] 立命館百年史編纂委員会編集 志津川地区まちづくり協議会編 京都市動物園編集委員会編集 柏原平和池水害伝承の会編集 加藤政洋研究室編集 奈良屋記念杉本家保存会編 岩永よし子著 八幡の歴史を探究する会制作</p>	<p>寄贈</p>
<p>岩屋神社史 八重の桜 二〇一三年NHK大河ドラマ特別展 城州古札見聞録 京都銀行七十年史 祇園祭・花街ねりものの歴史 宮津・与謝地方林業年表 山と里の年輪 京舞井上流の誕生 京都ローンテニスクラブ 80年の歩み 京都における日本近代文学の生成と展開 カシフジ百年史</p>	<p>『岩屋神社史』編纂委員会編 NHK・NHKプロモーション編集 吉田昭二著 京都銀行編集 福原敏男・八反裕太郎著 宮津・与謝林業年表編集委員会編集 岡田万里子著 京都ローンテニスクラブ編集委員会編 佛教大学総合研究所編集 出版文化社編集</p>	<p>取得</p>

イ 人文資料

区分	書名	著編者等	備考
参考図書	図書館年鑑 2013 出版年鑑 2013- 1, 2 書誌年鑑 2013 日本被害地震総覧 599-2012 図表で見る医療保障 平成25年度版 全国学校総覧 2014年版	日本図書館協会編 出版年鑑編 中西裕編 宇佐美龍夫[ほか]著 健康保険組合連合会編 全国学校データ研究所編	購入
	皇室制度史料 儀制成年式 3 新釈漢文大系 別巻(漢籍解題事典) 東日本大震災の記録 宮城県志津川高等学校 専門新聞要覧 第49号(2014年版) 大阪歴史博物館蔵資料集 5, 9 滋賀県所有活版印刷資料概要調査報告書	宮内庁書陵部編 内山知也著 宮城県志津川高等学校[編] 日本専門新聞協会編 大阪歴史博物館編 城郭遺産による街づくり協議会編	寄贈
	近世刑罰制度論考 社会復帰をめざす自由刑 日本の災害	高塩博[ほか]著 西川泰・科学技術庁国立防災科学技術センター編著	取得
宗教・歴史・地誌	神仏習合の歴史と儀礼空間 世界の民族・国家興亡歴史地図年表 環境の日本史 全5巻 奈良時代の政争と皇位継承 近世米市場の形成と展開 幕府司法と堂島米会所の発展 中華民国の誕生と大正初期の日本人 金沢北条氏編年資料集	嵯峨井建著 ジョン・ヘイウッド著 蔵持不三也日本語版監修 木本好信著 高槻泰郎著 曾田三郎著 永井晋・角田朋彦編	購入
	明治神宮 「伝統」を創った大プロジェクト 摂政宮と関東大震災 宮内庁の記録から 天下の城下町 大坂と江戸	今泉宜子著 宮内庁書陵部図書課宮内公文書館編 大阪歴史博物館編	寄贈
	敗者の古代史 記紀を読み直し、地域の歴史を掘りおこす 動乱!播磨の中世 赤松円心から黒田官兵衛まで	森浩一著 兵庫県立考古博物館編	取得
美術・芸能・写真	戦時下日本美術年表 1930→1945 日本石造物辞典 木彫仏の実像と変遷 原本『古画備考』のネットワーク 詫磨派研究 中世屏風絵研究 漆工辞典	飯野正仁編 日本石造物辞典編集委員会編 本間紀男著 古画備考研究会編 藤元裕二著 泉万里著 漆工史学会編	購入
	平山郁夫 悠久のシルクロード 東京国立博物館図版目録 インド・インドネシア染織篇 上村淳之 作家の眼 *日本美術全集 2, 3, 10, 13, 14巻 *近代日本彫刻集成 全3巻 *来迎図の美術 増補版 *拾遺古徳伝絵 〈常福寺本〉 法然上人八百年大遠忌記念 (法然上人絵伝集成 3)	平山郁夫[画] 東京国立博物館編集 上村淳之[画] 京都市美術館・京都新聞社編集 辻惟雄ほか編集委員 田中修二編 中野玄三著 中井真孝編	寄贈

<p>*光琳畫譜 乾・坤 *琳派絵画全集 全5冊 *宗達伊勢物語図色紙</p> <p>*岩佐又兵衛全集 絵画篇・研究篇</p> <p>*もみぢ *中國繪畫總合圖録 3編第1巻 アメリカ・カナダ篇 1 *ポッティチェッリ全作品</p> <p>*むかしはなし 下村玉廣画集 *永遠の日本 白川義員作品集 *中井貞次作品集 イメージを染める</p>	<p>尾形光琳[画] 中村芳中筆 山根有三編 羽衣国際大学日本文化研究所伊勢物語絵研究会編 岩佐又兵衛[画] 辻惟雄・佐藤康宏監修・編著 久保田金僊筆</p> <p>ポッティチェッリ[画] 高階秀爾・鈴木杜幾子編著 下村玉廣筆 白川義員著 中井貞次著</p>	
<p>市井展の全貌 淡交会、珊々会、尚美展から東京会まで 戦前編 交差する表現 工芸/デザイン/総合芸術</p>	<p>東京美術倶楽部編 京都国立近代美術館編集</p>	取得

* 印の資料14点は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

ウ 官庁資料

区分	書名	著編者等	備品
京都関係	<p>支えあうまち・京都ほほえみプラン 京都市障害者施策推進計画 京都市避難所運営マニュアル 地域でマニュアルづくりを進めていくために 京都市の原子力防災</p> <p>京都市都市計画マスタープラン</p> <p>街路樹文化の創造に向けて 京都市近代街路樹100周年記念誌 美しい地球を次の世代へ 組合創立50周年記念 新向日市環境基本計画 含地球温暖化対策実行計画</p> <p>宇治市児童虐待初期対応ハンドブック 平成24年11月改訂版 亀岡市教育振興基本計画 かめおか教育プラン 森・里・街がきらめくふるさと南丹市 南丹市総合振興計画 福知山市景観計画 舞鶴市文化振興基本指針</p>	<p>京都市保健福祉局障害保健福祉推進室[編] 京都市行財政局防災危機管理室[編] 京都市行財政局防災危機管理室[編] 京都市都市計画局都市企画部都市計画課[編] 京の近代街路樹100周年記念事業委員会編 城南衛生管理組合広報情報課編 向日市市民生活部環境政策課[編] 宇治市・宇治市要保護児童対策地域協議会[編] 亀岡市教育委員会[編] 南丹市企画政策部企画調整課編</p> <p>福知山市都市計画課[編] 舞鶴市[編]</p>	寄贈
	<p>政府予算に関する重点要望書 平成25年度 衆議院議員総選挙最高裁判所裁判官国民審査選挙の記録 平成24年12月16日執行 京都府統計書 平成23年 災害時における生活必需品及び応急復旧資材の調達先一覧表 京都府児童生徒の健康と体力の現状 平成24年度</p>	<p>京都府[編] 京都府選挙管理委員会編 京都府政策企画部調査統計課編 京都府[編] 京都府教育庁指導部保健体育課編</p>	取得

	ベンチマークレポート 「明日の京都」実施状況報告書 国の施策及び予算に対する政策提案 平成26年度 大野ダム水文10年報 平成14年～平成23年(附平成24年) 介護保険制度の実施状況 平成24年度 高浜発電所及び大飯発電所環境影響監視結果 平成24年度	京都府[編] 京都府[編] 京都府大野ダム管理事務所[編] 京都府健康福祉部高齢者支援課[編] 京都府文化環境部環境・エネルギー一局環境管理課編	
国	東アジア戦略概観 2013 ものづくり白書 2013年版 日本の水資源 平成25年版 平成財政史 平成元～12年度 第2～4巻 原子力ポケットブック 2013年版 犯罪白書 平成25年版	防衛省防衛研究所編 経済産業省・厚生労働省編 国土交通省水管理・国土保全局水資源部編 財務省財務総合政策研究所財政史室編 日本電気協会新聞部編 法務省法務総合研究所編	購入
	学術情報基盤実態調査結果報告 平成24年度 家計調査年報 家計収支編 平成24年 総合農協統計表 平成23事業年度 道路統計年報 2013 雇用保険事業年報 平成24年度	文部科学省研究振興局情報課編 総務省統計局編 農林水産省経営局協同組織課編 国土交通省道路局企画課編 厚生労働省職業安定雇用保険課編	寄贈
	薬事工業生産動態統計年報 平成24年 国民生活基礎調査 平成24年	厚生労働省医政局経済課編 厚生労働省大臣官房統計情報部編	取得

エ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総数	継続購入数
京 都 関 係	3,060タイトル	5タイトル
一般(歴史・美術・官庁等)	2,828	91
京 都 官 庁 関 係	780	—
計	6,668	96

(2) 文書資料

ア 古文書

(ア) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名 (資料名)	形態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容/特記)	備考
近世・近代	松浦町文書	古文書	46	京都市 中京区	享保8年(1723)～ 昭和15年(1940)	松浦町(岩上通四条上ル)で保管されていた「町什物」等の町文書。	寄贈
	中路家旧蔵資料	古文書	73	京都市 右京区	元和2年(1616)～ 明治44年(1911)	京都市右京区西京極郡村の中路家に伝来した資料。	寄贈
	井上敏雄氏特許関係資料	古文書	22	京都市・丹 後竹野郡	明治21年(1888) ～大正5年(1916)	井上敏雄氏の発明や特許に関する書類を中心とした資料群。	寄贈
	上野家文書	古文書	34,902	舞鶴市	慶長19年(1614) ～昭和42年(1967)	舞鶴市西方寺(旧岡田中村)の旧家上野家の文書。	寄贈
	藤野大吉家旧蔵資料	古文書	929	京都市 右京区	寛文6年(1666)～ 昭和30年代	北桑田郡辻村(現在京都市右京区京北辻町)の藤野大吉家に伝来した資料。	寄贈
	佐々木米行氏関連資料	古文書	73	京都市	昭和32年(1957) ～59年(1984)	池大雅美術館の先の館長で池大雅作品の収集家で研究者であった佐々木米行氏に関連する資料。	寄贈

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成25年度収集			累計(平成26年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	-	-	-	556	1,388	2,205
行政文書	-	-	-	10	84	1,043
合計	-	-	-	566	1,472	3,248

(イ) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名 (資料名)	形態	目録点数	備考
近世・近代	松浦町文書	古文書	46	終了・公開
	中路家旧蔵資料	古文書	73	終了・公開
	井上敏雄氏特許関係資料	古文書	22	終了・公開
	上野家文書	古文書	34,902	終了・一部公開 ・公開準備中
	藤野大吉家旧蔵資料	古文書	929	終了・公開準備中
	佐々木米行氏関連資料	古文書	73	終了・公開準備中
	相楽郡小寺村文書	古文書	約350	整理中

b 古文書の燻蒸

本年度は実施していません。

イ 写真資料

(7) 収集

本年度、収集した写真資料は、ありません。

(イ) 整理・保存

本年度、整理した写真資料は、次のとおりです。

一時預り 近藤豊撮影写真資料 約10万カットのうち42,322枚

(内訳) ブローニーフィルム6×6 42,267枚
ブローニーフィルム6×7 30枚
ブローニーフィルム6×9 23枚
モノクロネガ35mmフィルム 2枚

以下、次年度以降

35mmモノクロネガ 約60,000枚
35mmカラーポジ 約3,000枚

(ウ) デジタル化

公開を目指し、以下の資料をデジタル化しました。

- ①黒川翠山撮影写真資料 ガラス乾板 2,031枚
- ②近藤豊撮影写真資料 (一次預り分) 6×6、6×7、6×9、35mm合計で30,141カット

ウ 行政文書

(7) 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、以下のとおり1,896点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書等の引渡し	
完結年度	点数	完結年度	点数
昭和62年度	1,442	昭和31年～平成19年度	161
過年度分(昭和22～61年度完結)	293		
合計	1,735		

(イ) 整理

平成25年度に移管を受けた永年保存文書については、目録の作成、請求番号の付与、書架への排架等を行い公開するとともに、所蔵する有期限文書についても目録の作成等により公開の準備を進めています。

また、各簿冊に綴じられたファイル毎の件名目録の電子化により、将来構築する統合データベースで検索・閲覧できるよう準備を進めています。

文書の区分	作成目録	点数
永年保存文書 (平成25年度移管分)	簿冊目録	1,735
永年保存文書	件名目録	10,089
有期限保存文書	簿冊目録	5,625

(ウ) 保存

a 資料の保護

いたみの激しい文書や酸性劣化のおそれのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

	簿冊番号	簿冊名	点数
1	昭20-0111-001	第4次建物疎開(西陣)	1
2	昭20-0118-001	第3次建物疎開	1
3	昭20-0123	第3・第4次建物疎開	1
4	昭20-0134	建物疎開	1
5	大12-0038-1	寺院宮繕	1
6	大14-0084-26	道路工事	1
7	大14-0097-2	発電水利使用	1
8	大14-0097-4	発電水利使用	1
9	明14-0035	人民指令	1
10	明14-0039	人民指令	1
11	明14-0040	人民指令	1
計			11

b 文書の移動

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき引渡しを受けた文書131点について、平成26年2月6日に旧周山保健所庁舎の行政文書文書庫へ移動しました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は866点で、明細は次のとおりです。

部門		資料名	点数	区分	受入先
美術 工芸 資料	日本画	午下り ほか10点	11	寄贈	林やゑ様
	染織	菊・蝶・破小垣文板締下着(菱繫ぎ小紋) ほか83点	84	寄贈	野上俊子様
	染織	積心 ほか3点	4	寄贈	宮崎芳郎様
	染織	すみれ ほか2点	4	寄贈	澁谷和子様
	染織	小紋によるコラージュ	1	寄贈	澁谷和子様
	染織	伊根の舟小屋 ほか2点	3	寄贈	渡邊ルリ子様
	染織	松 一月待ち一 ほか2点	3	寄贈	竹村由美子様
	漆芸	太古の出来事B ほか4点	5	保管換	文化芸術振興課
写真	おじゃるおじゃる ほか35点	36	保管換	文化芸術振興課	

染織	金茶地蝶松藤文縫箔 ほか46点	47	保管換	文化芸術振興課
彫刻	神々の愛(インドの印象より) ほか20点	10	保管換	文化芸術振興課
陶芸	SPACEREPTOR-92 ほか2点	14	保管換	文化芸術振興課
日本画	雨ま音 ほか432点	433	保管換	文化芸術振興課
版画	センターフォールド ほか3点	4	保管換	文化芸術振興課
金工	雲居雁 ほか2点	3	保管換	文化芸術振興課
書	風雪人を磨く	1	保管換	文化芸術振興課
諸工芸	Wave-29 ほか2点	3	保管換	文化芸術振興課
人形	鞠の庭 ほか1点	2	保管換	文化芸術振興課
木竹芸	違い棚「明石」 ほか2点	3	保管換	文化芸術振興課
洋画	左大文字山の送り火 ほか130点	131	保管換	文化芸術振興課
日本画	墨竹図 ほか54点	55	寄贈	池大雅美術館様
染織	みぎわ	1	寄贈	坂井修様
陶芸	染付椿文水滴 ほか3点	4	寄贈	竹中浩様
陶芸	風 ほか1点	2	寄贈	市川博一様
日本画	伏見九郷図屏風 ほか1点	2	寄贈	森嶋健次様
25件 866点				

(4) デジタル化資料

本年度、東寺百合文書のうち 11,490 点をインターネットに公開しました。本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	公開時期	内容
貴重書データベース	平成13年5月～	1,146点 (55,853画像) *1
京都北山アーカイブズ	平成16年4月～	3,438点 (20,762画像) *2
行政文書アーカイブズ	平成21年3月～	229点 (3,607画像)
京の記憶ライブラリ	平成23年4月～	1,713点 (約1万画像)
東寺百合文書WEB	平成26年3月～	11,490点 (約44,000画像)

*1 府立図書館がデータ管理 *2 館内のみ公開を含む。

デジタル展覧会名	公開時期	内容
馬の人形展	平成14年～	128点 (65画像)
総合資料館収蔵品展 (平成16年度)	平成16年～	41点 (61画像)
企画展「先人達の京都研究」	平成19年2月～	80点 (112画像)
京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎	平成21年2月～	29点 (40画像)

7 調査

(1) 古文書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区分	調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
近世・近代	近世・近代町関係資料調査	松浦町	平成25年 5月16日	京都市	町会長が持ち回りしていた町文書／受入
近世・近代	京都府立大学ACTRとの共同調査	和束町 湯船区	平成25年 8月1日	和束町	区有資料／府立大学目録作成・写真撮影
近世・近代	近世・近代町関係資料調査	個人	平成25年 8月14日	京都市	特許に関連する資料／受入
近世・近代	近世・近代町関係資料調査	池大雅 美術館	平成25年 10月9日	京都市 他	前館長佐々木米行氏に関する資料／受入

(2) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存期限が経過した有期限保存文書(平成4年度完結20年保存、平成14年度完結10年保存等)3,221点から98点を選別しました。

また、各課共用書庫に保管された平成19年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書33点の文書を選別しました。

今年度の調査選別の状況は、次表のとおりです。

調査選別先	調査選別の概要
総務調整課書庫	保存年数が経過した平成4年度完結20年保存文書、平成14年度完結10年保存文書等の有期限保存文書3,221点から98点を選別収集
各課共用書庫	平成19年度完結5年保存文書等の有期限文書から33点を選別収集

(3) 写真資料

本年度調査した写真資料は次の通りです。

区分	調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
写真	佐藤辰三・佐藤旭 撮影写真資料	個人	平成25年 6月25日	兵庫県 篠山市	両氏撮影写真を寄贈を前提に調査

8 閲覧

(1) 図書資料

ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室で290席あります。開架図書約5万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できます。

本年度の利用者数は46,440人(1日平均146人)、書庫出納冊数は52,206冊でした。

イ 学習室

自習室で140席あります。本年度の利用者数は28,424人（1日平均89人）でした。

閲覧室等利用状況

年月	開館 日数	図書閲覧室 (1日あたり)		学 習 室 (1日あたり)		書 庫 出納冊数 冊	図書資料の相談件数			
		日	人 (人)	人 (人)	件		口頭 件	電話 件	文書 件	
	25年4月	28	3,621	(129)	1,936	(69)	4,003	1,023	901	94
5	15	2,098	(140)	1,212	(81)	2,494	827	689	114	24
6	29	4,178	(144)	2,528	(87)	4,727	1,402	1,248	122	32
7	29	4,381	(151)	3,154	(109)	5,187	1,232	1,107	97	28
8	30	4,986	(166)	3,522	(117)	4,549	1,211	1,063	121	27
9	27	3,673	(136)	2,184	(81)	4,081	1,130	976	121	33
10	29	4,317	(149)	2,296	(79)	4,585	1,222	1,063	134	25
11	27	4,149	(154)	2,220	(82)	4,160	1,186	1,055	118	13
12	25	3,507	(140)	1,970	(79)	4,924	1,078	959	91	28
26年1月	25	3,797	(152)	2,548	(102)	5,203	1,141	1,016	83	42
2	26	3,733	(144)	2,500	(96)	4,915	962	873	64	25
3	29	4,000	(138)	2,354	(81)	3,378	1,017	918	66	33
計	319	46,440	(146)	28,424	(89)	52,206	13,431	11,868	1,225	338

ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を行っています。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

本年度の相談状況は、次のとおりです。

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	4,761	294	24	5,079
複写依頼	3,784	150	154	4,088
特定図書の所蔵調査	1,637	388	43	2,068
図書に関する書誌的調査	301	16	3	320
人名・地名等の読み方調査	12	20	4	36
人物・団体調査	122	54	24	200
内容調査	858	210	68	1,136
その他	393	93	18	504
計	11,868	1,225	338	13,431

〔 相談事例 〕

○京都市左京区にあった法勝寺（ほっしょうじ）について知りたい。

【回答】 『京都大事典』のp834～835によると、法勝寺は白河天皇が現在の左京区岡崎、京都市動物園付近に営んだ寺のことで、六勝寺のひとつとされる。法勝寺は天皇の氏寺として栄えたが、承元2（1208）年の雷火と承久の乱後の皇室の弱体化にともない急激に衰え、応仁の乱後に姿を消した。

法勝寺に関しては、『京都の庭園 遺跡にみる平安時代の庭園』のp44～47に記載されており、現在の地図に重ね合わせた六勝寺跡の推定図や法勝寺の復元イメージ図が記載されている。また、『地図で読む京都・岡崎年代史』のp22～23に、法勝寺と高さ81メートルあったといわれる八角九重塔について記載されている。なお、法勝寺跡の発掘調査については『法勝寺跡発掘調査概報 昭和61年度』『六勝寺跡発掘調査概要 昭和55年度』に記載されている。

○京都市内では「がんばれ」という言葉を「おきばりやす」と言うのか。

【回答】 『京都府のことば』のp91「がんばる」には、「きばる」と記載されている。『京都府方言辞典』のp110「おきばりやす」には「がんばってください」、p176「きばる」には「努力する。がんばる」とある。『京ことば辞典』のp49「おきばりやす」には「精出して、がんばってください」、p95「きばる」には「力む。努力する」とあり、「おきばりやす」を参照せよと記載されている。『京都府ことば辞典』のp56「おきばりやす」には、「精出して頑張ってください」とあり、『京ことばの辞典』のp19「おきばりやす」には「がんばってください」、p46「きばる」には「がんばる、努力する」と記載されている。同資料には、例文として「残業どすか?」「きばってや」が紹介されている。

○1980～90年頃の学生マンションの間取り図を見たい。特に京都大学周辺のことを知りたい。

【回答】 学生下宿の間取り図は、『京都大学を知る本 京大サクセスブック1990』のp96～105、『京都大学を知る本 京大サクセスブック1996』のp112～113に記載されている。また、下宿選びのノウハウについては、『京都大学を知る本 京大サクセスブック1991』のp114～115、『京都大学を知る本 京大サクセスブック1992』のp108～109、『京大画報』のp74～78にそれぞれ記載されている。なお、どのような部屋に住んでいるか等の統計は、『新入生アンケートをもとに当世学生気質を探る』に掲載されている。

○山本覚馬が書いた管見（かんけん）を見たい。

【回答】 「管見」は、山本覚馬が慶応4（1868）年に新政府に宛てて出した建白書のことで、『山本覚馬』のp262～290、『山本覚馬伝』のp212～228に全文が記載されている。なお、『山本覚馬』は「国立国会図書館デジタル化資料」で全文を見ることができる。また、島津久徴が明治2年に筆写した「管見」を同志社大学が所蔵している。表紙には「山本覚馬建白」とあり、「同志社大学学術リポジトリ 貴重書デジタル・アーカイブ」で全文を見ることができる。

○京都府立総合資料館の建物と中庭の設計者が誰か知りたい。

【回答】 『京都府立総合資料館のあゆみ 昭和38年-39年』にスクラップされている昭和

38年11月6日の『京都新聞』夕刊によると、京都府立総合資料館の設計者は富家宏泰氏（富家建築事務所所長）、資料館中庭「外海から見た天橋立」の設計者は関口鉄太郎氏（京大教授）で、同館は同年11月15日に開館、翌16日から一般公開した。また、同資料にスクラップされている同年11月8日の『建設産業新聞』に、富家宏泰氏による完成祝いのコメントが、同年11月26日の『朝日新聞』朝刊には、中庭の紹介記事が掲載されている。なお、総合資料館の建物の概要や機能、設計上の特色等については、「京都府立総合資料館の概要」のp1～13に記載されている。

○京都朝日会館にかつてあった壁画の写真を見たい。

【回答】 京都朝日会館は昭和10年、朝日新聞京都支局の開設50周年を記念して、京都市中京区河原町通三条上りに竣工した。ビルの壁面には川口軌外、伊藤廉、林重義が25メートル四方の大壁画を描いており、その写真が『京都大事典』のp9と『建築雑誌』第49輯第604号に掲載されている。昭和27年10月、京都朝日会館の壁画は東郷青児によって「平和と団結」と題する28×23メートルの壁画に描き改められ、昭和50年の改築まで存在した。東郷青児が描いた壁画の写真は、『「京」なかぎょう』のp55と『写真でみる京都100年』のp163に掲載されている。

○昭和20年代に発売された「白い花の咲く頃」という歌の作曲者が峰山町の出身だと聞いた。

その人について書かれている資料を見たい。

【回答】 「白い花の咲く頃」という歌の作曲者は田村しげるで、彼については『京都府人物・人材情報リスト 2011-[2]』のp1296、2001年5月25日の『京都新聞』に掲載された「先人を訪ねて」のNo. 157に記載されている。また、田村しげる著『白い花の咲くころ』（音羽サービスセンター 1970年）を京都府立図書館で所蔵している。

* 上記も含め当館で受け付けた相談事例の詳細は、

<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/ref.html>でご覧いただけます。

エ 資料紹介コーナー

特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、総合資料館が所蔵する図書資料を広く紹介しています。

テーマ	期間
京都新聞連載「京滋文学道しるべ」	平成25年4月11日～平成26年1月7日
午 ー日本の美術作品に見る「馬」ー	平成26年1月9日～平成26年2月10日
和食 ー再発見！日本の伝統食とその素材ー	平成26年2月13日～平成26年6月(予定)

(2) 文書資料

文書閲覧室は、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧室で、35席あります。閲覧室に配架してある東寺百合文書写真帳、京都府布令書や写真資料コピーを自由に利用できるほか、デジタル画像の閲覧(一部は閲覧申請が必要)ができます。また、書庫内の文書資料は閲覧申請のうえ利用できます。

本年度の利用者数は2,286人(1日平均7人)、書庫資料閲覧点数は10,180点(1日平均32点)でした。

ア 古文書の閲覧

(7) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書(原本)が59人、653点、その他の原本閲覧は革嶋家文書が3人、3点でした。文書複製資料は東寺観智院聖教文書等が、129人、786点でした。

その他閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用も含め、合計240人、1,442点の利用がありました。

(1) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書等が、501人、2,351点、寄託文書は谷口家資料、大國家文書等が、16人、200点、文書複製資料は本光寺文書等が、11人、98点で、合計528人、2,649点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は907人で4,609点の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は232人で1,292点の利用があり、閲覧者の合計は1,139人、利用点数の合計は5,901点でした。

文書閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利 用 者 数													
		古文書					行政文書			写真資料			近代文学資料	その他	合計
		古代・中世			近世・近代	計	一般閲覧	公務	計	閲覧	写真資料コピー 及びデジタル画像	計			
		閲覧	東寺百合文書 写真帳	小計									(人)	(人)	(人)
(日)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
25年4月	28	15	5	20	36	56	55	15	80	0	1	1	0	25	162
5月	15	18	1	19	66	85	76	22	102	1	1	2	0	7	196
6月	29	20	13	33	79	112	100	21	130	0	3	3	0	16	261
7月	29	27	6	33	69	102	54	21	83	1	3	4	0	23	212
8月	30	21	4	25	34	59	72	10	89	0	1	1	2	35	186
9月	27	21	4	25	14	39	71	35	116	1	0	1	0	21	177
10月	29	6	4	10	41	51	87	25	116	0	4	4	0	37	208
11月	27	6	3	9	63	72	84	12	97	1	6	7	0	31	207
12月	25	13	0	13	30	43	87	21	108	1	0	1	2	18	172
26年1月	25	10	5	15	60	75	77	16	93	0	0	0	0	33	201
2月	26	17	4	21	14	35	63	19	87	0	3	3	0	17	142
3月	29	14	3	17	22	39	81	15	99	6	2	8	2	14	162
合計	319	188	52	240	528	768	907	232	1,200	11	24	35	6	277	2,286

年月	開館 日数	書庫資料閲覧利用数								
		古文書			行政文書			写真 資料	近代 文学 資料	合計
		古代 ・ 中世	近世 ・ 近代	計	一般 閲覧	公務	計			
		(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)			
25年4月	28	124	117	241	246	76	322	0	0	563
5月	15	124	137	261	425	67	492	2	0	755
6月	29	67	251	318	282	116	398	10	0	726
7月	29	147	219	366	247	149	396	2	0	764
8月	30	217	386	603	446	43	489	0	2	1,094
9月	27	82	196	278	413	184	597	2	0	877
10月	29	30	203	233	526	92	618	0	0	851
11月	27	37	145	182	458	89	547	1	0	730
12月	25	56	153	209	430	129	559	2	46	816
26年1月	25	79	527	606	417	67	484	0	0	1,090
2月	26	401	122	523	350	186	536	0	0	1,126
3月	29	78	193	271	369	94	463	47	80	842
合計	319	1,442	2,649	4,091	4,609	1,292	5,901	66	128	10,234

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計17件、373点の特別観覧がありました。主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部門	資料名	点数
個人	日本画	上村松篁「薪能」ほか	2
個人	日本画	田中猛夫「かまきり」	1
個人	日本画	(伝)原在中「白絵屏風」ほか	2
個人	日本画	西山英雄「播磨灘物語」挿絵原画	100
個人	陶芸	幹山伝七「染付草花模様小水差」ほか	9
個人	風俗・陶芸・漆器	吉川観方コレクション	31
個人	日本画	「柳下童子図屏風」ほか	9
個人	染織	浅葱縮緬地野馬模様振袖(中裁)ほか	2
個人	日本画	大森善清「美人と少女」ほか	7
個人	民俗	鏡Y452ほか	54
個人	日本画	長沢芦雪「美人図」	4
個人	日本画	田中訥言「中井延清像」ほか	4
個人	日本画	(伝)原在中「白絵屏風」	1
個人	日本画	鈴木松年「八岐の大蛇退治」ほか	1

個人	民俗	鹿児島金の助毬ほか	8
個人	日本画	高超甚「雪の村」ほか	5
個人	郷土人形	帖佐土人形ほか	133

9 東寺百合文書

(1) ユネスコ記憶遺産の推薦候補

ユネスコが実施する「記憶遺産」事業に関して、日本ユネスコ国内委員会ユネスコ記憶遺産選考委員会は、2015（平成27）年のユネスコでの登録に向けて、「東寺百合文書」を推薦することを決定しました。

(2) デジタル化

東寺百合文書の公開・活用を時代に即した形でより積極的におこなうため平成24年度から文書のデジタル化（画像データ作成）を進め、今年度は全体の約3分の2について作業を行い、デジタル化を完了しました。

点数 ム函以降の13,210点

期間 平成25年7月から平成26年3月

(3) 「東寺百合文書WEB」の公開

東寺百合文書全点のデジタル化事業と並行して専用webサイトの構築を進め、事業完了にあわせてインターネット上に一次リリースとして約4万4千カットの文書画像を公開しました。高精細な画像を自由に使用していただくとともに、コラム形式の解説なども掲載し、ユネスコ記憶遺産への登録も視野に入れながら、「使いやすさ」と「親しみやすさ」を世界に発信していきます。

東寺百合文書WEB <http://hyakugo.kyoto.jp/>

10 共同研究等

(1) 大学等研究機関との共同研究（再掲）

ア 古文書

当館所蔵資料等について、平成14年度（平成13年度は共同の事前調査）から府立大学文学部歴史学科との間で共同研究を行っています。本年度も、次のとおり、時代別研究を継続して行いました。

また、木津小寺村喜多家文書を対象として古文書整理の実習を行いました。

◎時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備考
近世	近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究	「元文四年 諸事日記」（古久保家文書）	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料の解読分析

(2) 大学学外授業等の受入れ

各大学の史料講読などの学外授業等に協力し、文献資料、古文書、行政文書等の概要及び閲覧制度、資料の取扱いなどを説明した後、実際に資料の閲覧をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	受入学生数
平成25年6月2日	佛教大学歴史学部	35名
平成25年11月21日	京都造形芸術大学歴史遺産学科	15名
平成25年12月19日	京都工芸繊維大学造形工学部門	19名
平成26年1月17日	京都府立大学文学部	20名
平成26年1月22日	佛教大学歴史学部	12名
平成26年2月17日	同志社大学図書館情報学研究会	8名

(3) 大学への出講

京都府立大学文学部の「博物館実習講義(学芸員課程)」、京都工芸繊維大学の「歴史学」の講義に出講しました。

11 図書館実習・インターンシップ

司書資格取得を目指す学生を対象とした図書館実習及び将来へ向けての職場体験を目的としたインターンシップを次のとおり受け入れました。

(1) 図書館実習

龍谷大学学生 2名 8月6日～9日 4日間

同志社大学学生 2名 8月20日～23日 4日間

(2) インターンシップ

立命館大学学生 1名 9月4日～6日、9月11日～13日 6日間

12 館蔵資料の撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は 365件、1,005 点でした。また、館蔵資料の複写利用は12,259件、251,908枚でした。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	98件	346点
文書資料	271	844
古文書	61	195
行政文書	153	394
写真資料	51	231
近代文学資料	6	24
管理委託現物資料	30	43
合計	365	1,005

複写状況

複写種別		図書資料		文書資料		合計		
		件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	
電子式複写	白黒	11,635	220,668	620	14,321	12,255	234,989	
	カラー		6,319		536		6,855	
(撮影)								(18,929)
画像プリント			3,468		4,854		8,322	
マイクロダブプリンター			2,945		998		3,943	
合 計		11,635	233,400	620	20,709	12,255	254,109	

※撮影は、複写合計に含まない。

13 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

(1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計11件、186点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資 料 名	冊数
京都文化博物館 平成25年度総合展示「京名所風俗図の世界」	宝永花洛細見図ほか	16
丹後郷土資料館 企画展「寄り来る鯨」	勇魚取繪詞ほか	3
京都文化博物館 平成25年度総合展示「池大雅「柳下童子図屏風」と四君子図の世界」	三才図会ほか	134
薩摩川内市川内歴史資料館 川内歴史資料館30周年記念特別展「北郷家と川内～海と川内川が育んだ歴史・文化～」	諸家傳	1
兵庫陶芸美術館 特別展「尾形周平展」	平安人物誌	2
奈良県立美術館 特別展「正倉院宝物と近代奈良の工芸」	丹鶴圖譜	1
舞鶴市教育委員会 舞鶴市郷土資料館 企画展「明治の舞鶴人～旧習一新～」	The guide to the celebrated places in Kiyoto & the surrounding places for the foreign visitors	1
向日市文化資料館 企画展「向日里人物誌の世界-近世乙訓の文化サロン-」	平安人物誌	4
丹後郷土資料館 丹後建国1300年記念特別展「丹後国府と中世都市「府中」-雪舟の描いた景観-」	続日本紀	20
吹田市立博物館 秋季特別展「交通の20世紀-吹田操車場と名神高速」	近畿を中心とする名勝交通鳥瞰図ほか	3
株式会社 高島屋「暮らしと美術と高島屋」展	[池田遥邨氏旧蔵京都関係絵図類]のうち23石清水八幡宮御行幸略図	1

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計11件、51点の貸与を行いました。

区分	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
古代・中世	兵庫県立考古博物館「動乱！播磨の中世—赤松円心から黒田官兵衛まで—」	東寺百合文書	2
	大山崎町歴史資料館「戦国 京都周辺の城をめぐる」	東寺百合文書／革嶋家文書	12
	京都府京都文化博物館「特別小陳列」	東寺百合文書	2
	大津市歴史博物館 第63回企画展「湖都大津のこもんじょ学」	革嶋家文書	1
近世・近代	平成25年度特別展「宇治電—水力の時代へ」展示	上野家文書	51

イ 行政文書

本年度は、次のとおり、合計3件、10点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
吹田市立博物館 平成25年度秋季特別展 吹田操車場開設90年・名神高速道路開通50年記念「交通の20世紀—吹田操車場と名神高速—」	名神高速道路第1建設局管内乙訓地区についての設計協議について	1
亀岡市文化資料館 第29回企画展「これまでの資料館、これからの資料館—雑水川、クニッテル通り、技専、文化資料館、そして常設展—」	道路ほか	6
国立歴史民俗博物館 平成25年度企画展「歴史にみる震災」	震災情報ほか	3

ウ 近代文学資料

本年度は、1件17点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
山梨県立文学館 企画展「与謝野晶子展」	煙草ケースほか	17

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計29件242点の貸与を行いました。主な貸与先等は次のとおりです。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
江戸東京博物館ほか NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」	森寛斎「京都名所四季図」ほか	5
京都市立芸術大学 「絵画或いは戦いの日々 関根勢之助1923-2003」展	関根勢之助「03-絵画-或いは戦いの日々」	1

南丹市立文化博物館 春期企画展「日本画こころの京都」	三島上龍「観桜美人図」 ほか	20
福知山市 特別展「日本画こころの京都」春期展	三島上龍「納涼美人図」 ほか	10
島根県立石見美術館 「和歌と美術」	狩野永敬「十二ヶ月歌 意図屏風」ほか	2
横須賀美術館 「日本の「妖怪」を追え！」	岸勝「幽霊図」	1
内閣府迎賓館京都事務所 天皇皇后両陛下への公開のため	五代清水六兵衛「大礼 磁唐草文花瓶」	1
倉吉博物館 特別展「生誕100年 桑野博利展」	桑野博利「風景（磯風）」 ほか	2
長浜市曳山博物館 企画展「曳山模型と図面勢ぞろい展」	祇園祭の薙刀鉾ほか	16
和泉市久保惣記念美術館 特別展「淡彩画－ひとつの色の多 彩な世界－」	(伝) 原在中「白絵松 鶴図屏風」ほか	2
京都国立博物館 特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」	五代清水六兵衛「青華 官女図花瓶」ほか	2
京都府立堂本印象美術館 企画展「女流作家の描いた昭和の エレガンス」	北沢映月「二面象」ほ か	6
福知山市佐藤太清記念館 特別展「日本画 こころの京都」	金島桂華「南瓜とトマ ト」ほか	6
長浜市曳山博物館 特別展「人々の救い 天神信仰－菅原伝 授手習鑑－」	天神人形（三次人形） ほか	21
内閣府迎賓館京都事務所 貴賓の接遇のため	北野治男「丹頂」	1
姫路文学館 特別展「司馬遼太郎・西山英雄装画『播磨灘物 語』展 官兵衛の世界を描く」	西山英雄 司馬遼太郎 著「播磨灘物語」装画	83
江戸東京博物館ほか 特別展「国際浮世絵学会創立50周年記 念展 大浮世絵展」	西川祐信「衣通姫図」 ほか	3
京都国立博物館 日本伝統工芸60周年記念「人間国宝展－生 み出された美、伝えゆくわざ－」	斎田梅亭「截金交菱文 飾筥」	1
長崎歴史文化博物館ほか 特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」	五代清水六兵衛「青華 官女図花瓶」ほか	2
内閣府迎賓館京都事務所 貴賓の接遇のため	上村淳之「鴛鴦」	1
下出祐太郎「紫の縁 源氏物語の世界」	下出祐太郎 漆屏風 「爛漫」	1
中信美術館 第26回京都美術文化賞受賞記念展	八代清水六兵衛「SPACE RECEPTOR-92」	1
板橋区立郷土資料館「板橋と馬」展	浅葱縮緬地野馬模様振 袖（小裁）ほか	2

渋谷区立松濤美術館「ねこ・猫・ネコ」展	「見立女三宮図」	1
大阪歴史博物館ほか「上方の浮世絵-大坂・京都の粋と技」	大森善清「遊女と禿図」 ほか	7
叶道夫 叶道夫退任記念展	叶道夫「そよかぜ」	1
京都新聞社COM「(仮称)近代日本画にみるさくら」展	岩澤重「北山春霞」	1
内閣府迎賓館京都事務所 貴賓の接遇のため	大塚明「早春譜(寒牡丹)」	1
京都府立堂本印象美術館「40人の作家による京のうつろいー春から夏へー」展	磯田又一郎「祇園春宵」 ほか	41

14 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、本年度、26館、66冊の貸出し、2館、16冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	2冊	15冊	南丹市美山図書室	1	—
向日市立図書室	1	—	福知山市立図書館中央館	7	—
長岡京市立図書館	1	—	舞鶴市立東図書館	2	—
宇治市立中央図書館	7	—	舞鶴市立西図書館	4	—
東宇治図書館	1	—	宮津市立図書館	1	—
城陽市立図書館	1	—	京丹後市立図書館丹後図書室	2	—
八幡市立八幡市民図書館	2	—	京丹後市立図書館弥栄図書室	1	—
京田辺市立中央図書館	5	—	京都市中央図書館	1	—
木津川市立加茂図書館	2	—	京都市下京図書館	1	—
和束町体験交流センター図書室	1	—	京都市右京中央図書館	7	1
亀岡市立図書館中央館	3	—	京都市伏見中央図書館	2	—
南丹市立中央図書館	3	—	京都市醍醐中央図書館	4	—
南丹市日吉図書室	1	—	京都市洛西図書館	3	—
			計	66冊	16冊

(2) 国立国会図書館

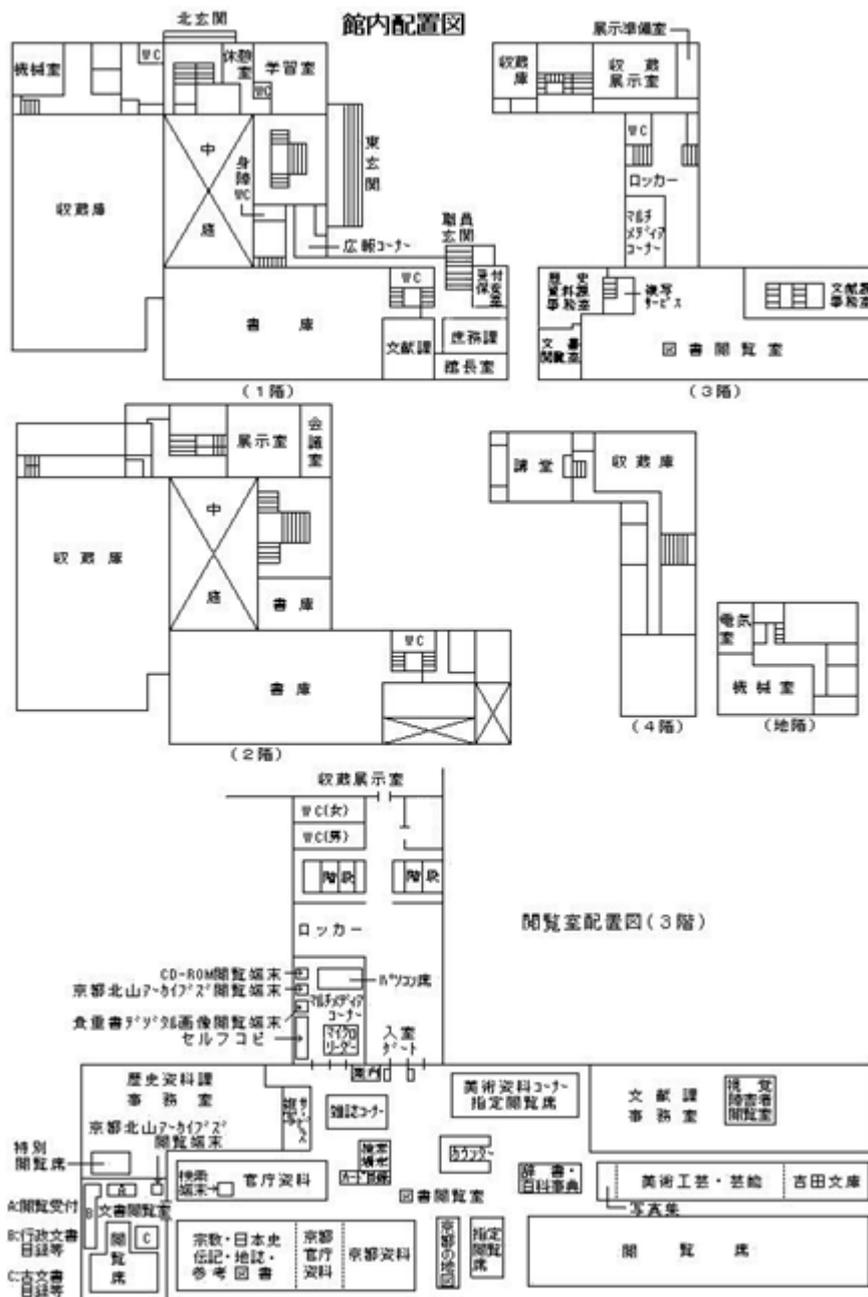
昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、平成25年度の借受利用は、2件、3冊でした。

15 施設の状況

敷地面積	13,911.95㎡		
建物面積	4,501.57㎡	延13,743.33㎡	
建設費	建物及び造園工事費	54,178万円	内部設備費 15,007万円
	計 69,185万円		
構造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 地上4階 地下1階		

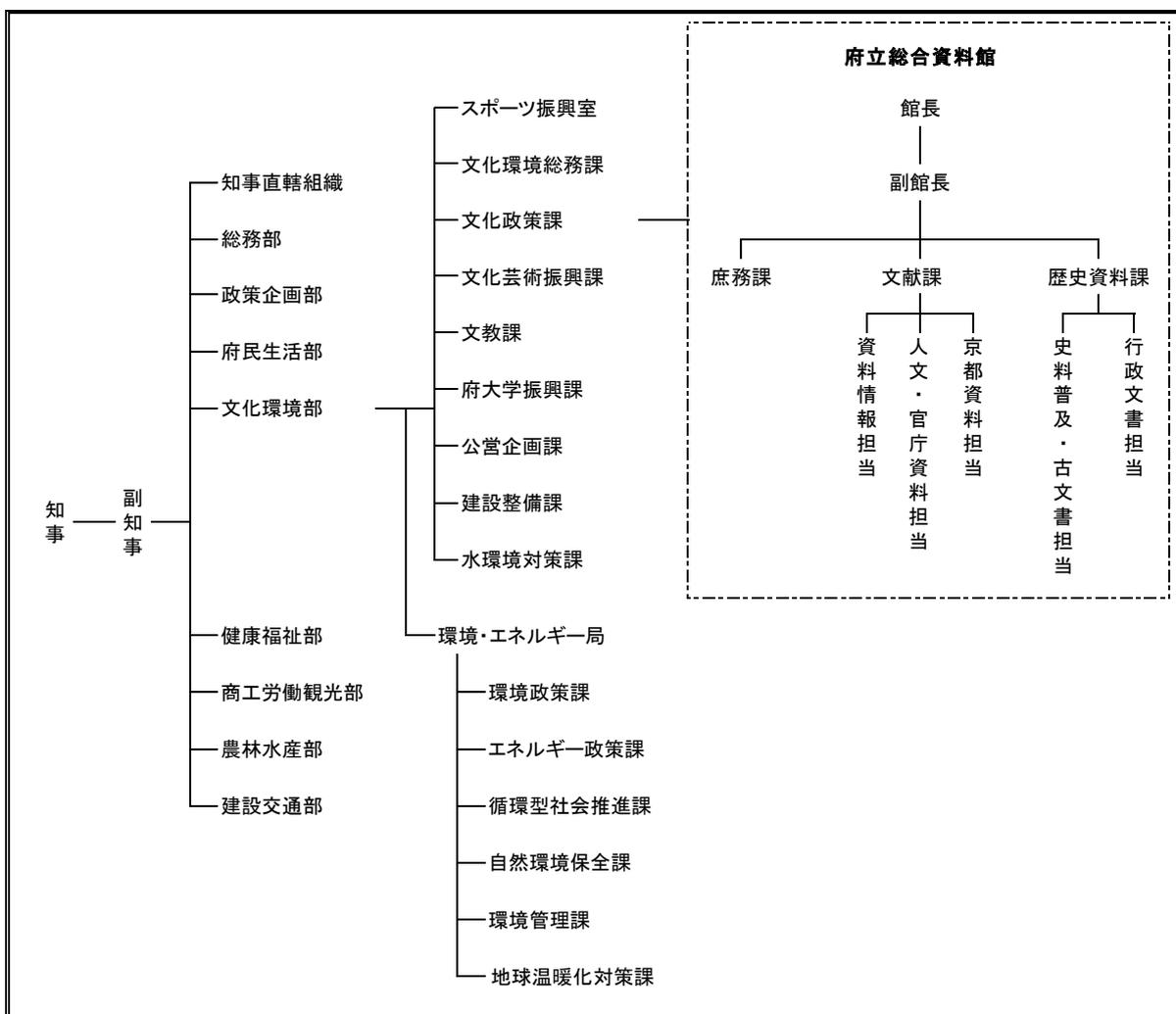
主要室の規模（平成26年3月31日現在）

1階	2階	3階	4階
学習室 189㎡	展示室 194㎡	図書閲覧室 975㎡	講堂 327㎡ (350席)
書庫 1,089㎡	書庫 1,045㎡	文書閲覧室 85㎡	
風俗資料室 116㎡	収蔵庫 478㎡	マルチメディアコーナー 65㎡	
収蔵庫 1,014㎡	第三書庫 335㎡	収蔵展示室 255㎡	



16 組織・業務分担・予算（平成26年4月1日現在）

(1) 組織



(2) 職員数

	職員（再任用を含む）	嘱託
館長	1	—
顧問	—	1
副館長	1	—
庶務課	11 ※	3
文献課	15	11
歴史資料課	10	3
計	38	18

注 副館長は庶務課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 庶務課

- 1 総合資料館の整備計画に関する事。
- 2 規程等の制定改廃に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 広報及び文書事務等に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関する事。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関する事。
- 8 (財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関する事。
- 9 保安業務に関する事。
- 10 他課の所管に属さない事。

イ 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関する事。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 図書等資料の普及に関する事。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関する事。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関する事。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関する事。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

(4) 予算状況 (平成26年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	6,897	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集展示事業	43,446	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	853	古文書、行政文書の収集・整理等
図書館情報ネットワークシステム運営事業	3,895	図書館情報ネットワークシステム運営事業
総合資料館館蔵資料保存・活用推進事業	1,212	展覧会、公開講座の開催等
重要文化財京都府行政文書修理事業費	8,000	京都府行政文書の修理・補修費用
新総合資料館(仮称)統合情報システム整備費	336,000	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの構築等
国際京都学センター開設準備費	7,254	国際シンポジウムの開催、嘱託
京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業費	35,000	貴重書、絵画、歴史的公文書の電子画像化
東寺百合文書ユネスコ世界記憶遺産登録推進事業費	4,500	東寺百合文書の現代語訳文・英語文化等
計	447,057	

* 管理費を除く

17 平成25年度の主な活動

平成25年

- 4月11日～26年1月7日 資料紹介コーナー「京滋文学道しるべ」（図書閲覧室）
- 4月19日 共同研究（地域史演習）
- 4月23日 共同研究（文化財実習）
- 4月23日 資料収集（京都市）
- 4月25日 資料調査（京都府立堂本印象美術館）
- 4月26日 共同研究（地域史演習）
- 4月26日 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以下「全史料協」）近畿部会運営委員会
- 5月8日 まいまい京都（施設見学）
- 5月10日 共同研究（地域史演習）
- 5月10日 新総合資料館（仮称）統合情報システムRFI説明会
- 5月16日 古文書調査（京都市）
- 5月16日 京都府立大学出講
- 5月17日 京都府図書館等連絡協議会（以下「京図連協」）相互協力委員会（府立図書館）
- 5月20日～31日 蔵書点検
- 5月21日 友の会役員会
- 5月21日～22日 国文学研究資料館運営会議（東京都）
- 5月23日 京都府立大学出講
- 5月24日 共同研究（地域史演習）
- 5月28日 共同研究（文化財実習）
- 5月30日 京都府立大学出講
- 5月31日 共同研究（地域史演習）
- 6月4日 全史料協近畿部会役員会
- 6月5日 友の会現地講座（同志社大学、新島旧邸）
- 6月5日 京図連協広報委員会（府立図書館）
- 6月6日 京都府立大学出講
- 6月7日 共同研究（地域史演習）
- 6月10日～11日 全国公文書館長会議等（福岡県）
- 6月13日 京都府立大学出講
- 6月13日 資料調査（右京区）
- 6月20日 京都府立大学出講
- 6月21日 現地調査（宇治市）
- 6月21日 ワシントン大学東アジア図書館鈴木紗江子氏来館（施設見学）
- 6月21日 全史料協近畿部会平成25年度総会（徳島県）
- 6月25日 共同研究（文化財実習）
- 6月27日 京都府立大学出講
- 6月27日 国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会（東京都）
- 6月28日 共同研究（地域史演習）
- 7月1日 京都府職員文書主任研修出講（舞鶴市）
- 7月2日、9日 京都の「地蔵」信仰と地蔵を活かした地域活性化事業（以下「地域活性化事業」）記録調査（太秦）
- 7月3日 京図連協研修研究委員会（府立図書館）
- 7月4日 京都府立大学出講
- 7月5日 共同研究（地域史演習）
- 7月5日 京都府職員文書主任研修出講（京都府庁）
- 7月9日 地域活性化事業実行委員会（花園大学）
- 7月11日 京都府立大学出講
- 7月11日 京都府立大学古文書演習
- 7月11日～9月10日 総合資料館開館50周年記念ミニ展示第1期「平成で25年 世相を所蔵資料でふり返る」（図書閲覧室）

- 7月14日 総合資料館開館50周年記念トークセッション「新資料館に期待する」及び館内ツアー
- 7月16日 地域活性化事業記録調査(太秦)
- 7月16日 新総合資料館(仮称)新築工事説明会(府立大学)
- 7月18日 京都府立大学出講
- 7月23日 共同研究(文化財実習)
- 7月24日 パルドヴィツェ大学(チェコ)教員2名来館(施設見学)
- 7月24日 全史料協第2回大会・研修委員会(東京都)
- 7月25日 京都府立大学出講
- 7月25日 地域活性化事業調査地選定会議(花園大学)
- 7月31日 京都府立嵯峨野高校来館(施設見学)
- 8月1日 総合資料館開館50周年記念寺子屋講座「夏を涼しく!京うちわ」
- 8月2日、3日、7日、9~12日、14~18日、21日、23~26日 京都の「地蔵」信仰と地蔵を活かした地域活性化事業記録調査(太秦、堀川上立売、六道珍皇寺、千本えんま堂、西院、西陣、室町、矢田寺、中京区、宇治田原町ほか)
- 8月6日~9日 図書館実習(龍谷大学)
- 8月6日 共同研究(文化財実習)
- 8月14日 古文書調査(京都市)
- 8月19日 第22回京都図書館大会(同志社大学)
- 8月20日~23日 図書館実習(同志社大学)
- 8月23日 全史料協組織改善ワーキンググループ会合(神奈川県)
- 8月28日 新総合資料館(仮称)の設計意図説明会(建設現場事務所)
- 8月29日 公開承認施設会議(旧文科省庁舎)
- 8月30日 国宝・重要文化財の防災対策研修会(旧文科省庁舎)
- 9月2日~6日 アーカイブズ研修I(東京都)
- 9月3日~4日 新任図書館長研修(京都府総合教育センター)
- 9月4日~6日 立命館大学インターンシップ
- 9月4日 デジタル化資料の図書館等への送信に関する説明会
- 9月6日 韓国国史編纂委員会委員長来館調査
- 9月9日 上野家文書受入
- 9月9日~13日 指定文化財企画展示セミナー(九州国立博物館)
- 9月11日~13日 立命館大学インターンシップ
- 9月12日~12月27日 総合資料館開館50周年記念ミニ展示第2期「昭和で25年 世相を所蔵資料で振り返る」(図書閲覧室)
- 9月13日 全史料協近畿部会第122回例会
- 9月18日 国立国会図書館データベースフォーラム(国立国会図書館関西館)
- 9月18日 新総合資料館(仮称)総合評価技術提案説明会(建設現場事務所)
- 9月19日 京図連協第2回相互協力委員会(府立図書館)
- 9月24日~11月30日 総合資料館開館50周年記念オリジナルブックカバーの公開(第1期)
- 9月29日 総合資料館開館50周年記念 地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウムー山城地域の活動を中心としてー(文化パルク城陽)
- 10月3日 京都府立大学出講
- 10月4日 京図連協臨時研修会(府立図書館)
- 10月6日 総合資料館開館50周年記念京都学へのいざない講座「現代京都のものづくりー伝統文化からデジタル文化にー」
- 10月9日 京都府立大学出講
- 10月9日 池大雅資料調査
- 10月10日 地域活性化事業所在調査準備会議(花園大学)
- 10月10日 Google歴史アーカイブで「御所と離宮」と「京都散策 明治末~大正初期」を公開
- 10月11日 共同研究(地域史演習)
- 10月12日 総合資料館開館50周年記念・ユネスコ記憶遺産推薦決定「平成25年度東寺百合文書展」(以下「東寺百合文書展」)
- ~11月10日

10月14日 ユネスコ記憶遺産推薦決定・総合資料館開館50周年記念 国際京都学シンポジウム「東寺百合文書のこれから―記憶遺産に向かって―」（府立大学）
 10月16日 米国アリゾナ州図書館ジェニファー・コールドウェル氏来館（施設見学）
 10月17日 京都府立大学出講
 10月18日 共同研究（地域史演習）
 10月18日 古典の日・読書週間記念講演会（府立図書館）
 10月19日 「東寺百合文書展」列品解説
 10月22日 スウェーデン公文書館アンドレアス・ヴォルガード氏来館（施設見学）
 10月23日 共同研究（文化財実習）
 10月23日 総合資料館開館50周年記念 京都学へのいざない講座「京都ものづくりの基盤形成―琵琶湖疏水・田邊朔郎とその時代―」（蹴上浄水場）
 10月24日 池大雅美術館館蔵品評価鑑定（池大雅美術館）
 10月24日 京都府立大学出講
 10月26日 「東寺百合文書展」列品解説
 10月26～27日 地域活性化事業地蔵所在調査（下京区）
 10月30日 「東寺百合文書展」列品解説（友の会会員）
 10月31日 京都府立大学出講
 11月1日 共同研究（地域史演習）
 11月5日～8日 府庁2号館ロビー展示（写真資料）
 11月7日 京都府立大学出講
 11月8日 共同研究（地域史演習）
 11月8日 京図連協広報委員会（府立図書館）
 11月12日 著作権セミナー（京都テルサ）
 11月14日～15日 第39回全史料協全国（東京）大会（東京都）
 11月14日～12月15日 総合資料館開館50周年記念企画展「資料にぞくっ！～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～」(以下「50周年記念企画展」)
 11月16日 総合資料館50周年記念シンポジウム「総合資料館の50年と未来」(職員研修・研究支援センター)
 11月19日 総合資料館開館50周年記念 京都学へのいざない講座「京都の文明開化―山本覚馬を中心に―」（府立大学）
 11月21日 「50周年記念企画展」列品解説（午前：友の会会員、午後：一般）
 11月21日 京都造形芸術大学生来館調査見学
 11月21日 イオンモール京都五条職員研修会出講
 11月27日 池大雅資料受入
 11月27日 京都府立大学出講
 11月27日 共同研究（文化財実習）
 11月27日 新総合資料館（仮称）建築工事枯らし工法技術提案説明会（建設現場事務所）
 11月28日 友の会バス見学会（奈良県）
 11月28日 佐藤辰三・佐藤旭撮影写真資料収集調査（篠山市）
 11月28日 「50周年記念企画展」館内案内ツアー
 11月29日 共同研究（地域史演習）
 11月29日 京図連協実務研修会（府立図書館）
 12月1日 京都市文化財マネージャー上級講座出講
 12月1日～1月31日 総合資料館開館50周年記念オリジナルブックカバーの公開（第2期）
 12月5日 「50周年記念企画展」列品解説
 12月5日 京都府立大学出講
 12月6日 共同研究（地域史演習）
 12月10日 地域活性化事業取材調査(花園大学)
 12月11日 図書館・読書施設等職員中級研修（当館）
 12月12日 京都府立大学出講
 12月13日 共同研究（地域史演習）
 12月13日 アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会研究会
 12月18日 共同研究（文化財実習）
 12月19日 京都府立大学出講

12月19日	京都工芸繊維大学来館調査
12月24日～26日	古文書入門教室（府立大学）
平成26年	
1月6日～31日	「デジタル体験！国宝東寺百合文書展」
1月9日	同志社大学社会学部出講
1月9日～2月10日	資料紹介コーナー『午一日本の美術作品に見る「馬」一』（図書閲覧室）
1月11日	総合資料館開館50周年記念 国際京都学シンポジウム「近代京都の学と美の新生一明治・大正期の日中交流の中から一」（京都市国際交流会館）
1月16日	京都府立大学古文書演習
1月16日	京都府立鴨沂高校来館（展示見学）
1月16日	大谷大学出講
1月17日	京都府立大学横内ゼミ来館（収蔵庫等見学）
1月20日～24日	府庁2号館ロビー展示（行政文書）
1月22日	アーカイブズ研修Ⅱ出講（国立公文書館）
1月22日	佛教大学歴史学部原田教授・学生来館
1月22日	総合資料館開館50周年記念 京都学へのいざない講座「京の美学一西陣織の翻古爲新一」（府立大学）
1月23日	京都府立大学出講
1月23日	新総合資料館（仮称）建築工事枯らし工法技術提案説明会（第2回）
1月29日	京都府立大学出講
1月29日	共同研究（文化財実習）
1月30日	京都府立大学出講
2月1日、4日～5日	地域活性化事業所在調査（東山区）
2月10日	立命館大学前田講師・学生来館
2月13日～6月10日	資料紹介コーナー『和食一再発見！日本の伝統食とその素材一』（図書閲覧室）
2月15日	国文学研究資料館から古典籍調査
2月17日	同志社大学図書館情報学研究会来館調査見学
2月28日	共同研究（文化財実習）
3月3日	「東寺百合文書WEB」公開開始
3月4日～6日	歴史資料解説講座（府立大学）
3月5日	京図連協相互協力実務担当者会議（府立図書館）
3月6日	地域活性化事業地域報告会・シンポジウム（花園大学）
3月10日	生涯学習審議会（ルビノ京都堀川）
3月14日	大和高田市統計協会文献調査
3月15日	国際京都学シンポジウム「名所の今昔」（府立大学）
3月23日	総合資料館開館50周年記念 寺子屋講座「京都の歴史を歩こう！2014～岡崎編～」

18 沿 革

昭和34.	34年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6	「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8	起工式
37. 11. 10	定礎式
38. 10. 28	設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
38. 11. 15	開館式及び祝賀会を挙げる。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
39. 2. 21	文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1	機構改革（係を課とし、3部9課）
39. 11. 14	「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4	京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始

- 41. 6 民謡調査を開始
- 42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
- 43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課）
- 43. 11 昔話調査を開始
- 45. 4 『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
- 45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
- 45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課）
- 45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2階展示室）を開設
- 45. 12 資料の寄託制度を開始
- 46. 1. 1 『資料館だより』創刊
- 46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
- 46. 7. 15 第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡）
- 46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
- 47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される。
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される。
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される。
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始

- 62.5.12 「古文書相談」を開始
- 63.3.29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
- 63.4.14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63.4.18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63.9.30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63.10.1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元.4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元.10.20 第1回「文化講座」を開催
- 2.10.8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3.5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4.4.1 日本図書館協会に再加入
- 4.7.1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5.4.1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
- 5.5.20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5.11.7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6.6.4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9.4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9.6.30 「東寺百合文書」が国宝に指定される。
- 10.3.31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10.12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11.4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
- 12.4 京都府20世紀資料整理事業を開始
- 12.9.30 「特別資料室」を閉鎖
- 12.10.1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12.12.28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13.3.23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される。
- 13.5.11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13.7.2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13.10.9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14.5.23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14.6.26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される。
- 14.7.19 ホームページを開設
- 14.11.26 「古文書解読講座」を開始
- 14.12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15.5.29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される。
- 15.11.15 開館40周年を迎える。
- 16.3.25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16.4.1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
- 19.12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21.1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21.3.24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21.3.27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結

- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進
についての検討報告」公表
- 21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開
催
～11. 26
- 22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23. 4. 6～12 東日本大震災 災害ボランティア派遣
- 23. 5. 2～6. 2
- 23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22
- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究
（ACTR）を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本
ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館50周年を迎える。
- 25. 11. 16 開館50周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ
提出

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成26年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟禪文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

交通案内



京都市営地下鉄
烏丸線・北山駅下車(①出口)
市バス ④ ⑧
北山駅前下車
京都バス ④⑤ ④⑥
前萩町下車



休館日

毎月第2水曜日、祝日法に規定する祝日（日曜日の場合は振替休日）、
年末年始（12月28日～1月4日）、蔵書整理期（不定）

開館時間

午前9時から午後4時30分まで

総合資料館 業務概要

— 平成25年度のまとめ —

発行日	平成26年7月
編集・発行	京都府立総合資料館
	〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
電話	075-723-4831
ファクシミリ	075-791-9466
ホームページ	http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/
Eメールアドレス	shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp
